

京都教区時報

第164号

田中司教認可

毎月1日発行

発行 京都司教区 発行責任者 村上透磨
 編集 カトリックきょうと福音センター 住所 京都市中京区壬生淵田町26 Tel 822-7123



パウロ古屋義之司教 帰天

1991年2月2日 午後5時25分(90歳)

喜べ 重ねて言う喜べ
 溫良なこと すべての人に知れよかし
 (フィリッピ4,4~5)

悲しまないでください。
 私は今、御父のもとにあって永遠の喜びの
 うちにあるのですから。

略歴

| | |
|-------------------------------------|---------|
| 1900年(明治33年)2月9日和歌山市に生まれる | 2月20日受洗 |
| 1928年(昭和3年)7月1日司祭叙階・於大阪 | |
| 40年(昭和15年)11月30日京都教区長 | |
| 51年(昭和26年)9月21日司教叙階 | |
| 76年(昭和51年)9月23日京都教区長退職 | |
| 1912年(明治45年)4月 長崎市浦上聖マリア学院入学 | |
| 13年(大正2年)9月 長崎市大浦羅典神学校中学部へ編入 | |
| 21年(大正10年) 同校本科哲学部に入る | |
| 24年(大正13年) 同校本科神学部に入る | |
| 28年(昭和3年)6月25日同校卒業(司祭叙階7月1日) | |
| 30年(昭和5年)4月27日1年間研修旅行 | |
| 34年(昭和9年)3月1日京都・河原町教会助任司祭 | |
| 36年(昭和11年)11月1日同教会主任司祭 | |
| 40年(昭和15年)11月30日京都教区長(司教叙階51年9月21日) | |
| 52年(昭和27年)ヨーロッパ・アメリカ視察の旅 | |
| 55年(昭和30年)オーストラリア視察の旅 | |
| 58年(昭和33年)日本司教協典礼聖歌委員長 | |
| 62年(昭和37年)第2バチカン公会議全期に出席 | |
| 67年(昭和42年)京都司教座聖堂建築 | |
| 70年(昭和45年)日本司教協工キュメズム委員長 | |
| 72年(昭和47年)京都カトリック会館(セイユアルホール)建築 | |
| 91年(平成3年)2月2日入院・永眠 | |

宣教司牧評議会報告

'90年 9月29日～12月9日

尚くわしい事は別に報告がある
と思う。

○各地区的行事報告など
第2回ナイス

青年センター
機関紙ジヨバンを参照されたい

○ナイスに向けてのプログラム
○大阪管区司教會議の報告

9月29日・30日 臨時司牧評

岡田師（日本カトリック宣教研究所長）を招き

アジア文流委員会

資料委員会

岡田師講演の要旨（左記参照）
補助金申請委員会の報告と承認

信徒及び司祭の役割。福音宣教共同体の二つについて研修会開催（評議員以外の方々にも招待状を出した。）

○規約一部改正
○テレフォンカードの売れ行き
○バングラデシュの日（仮称）設置案
○パンダラの手芸品販売
○第2回派遣について
○鍼灸を学びたい青年の受け入れを検討中
○第1回派遣報告会終了
○役員改選等

○今3名で古屋司教の図書整理をほぼ終えつつある
毎月第3水曜日に行っている後継者を募集中
○各小教区の資料目録等も把握

2討議事項「よりよき福音宣教共同体になるために」（適正配置）。岡田師の講演で確認した事をどう生かすか。そして信徒一人一人がこれが自分にとり大切でかつ緊急を要する問題と気付くにはどうした

10月26日 常任委員会
先の問題について検討。

12月8日・9日 定例司牧評議会

平和の歩み実行委員会
○新しい実行委員会の構成

第2回福音宣教推進全国会議のテーマ、開催地が決まりました。司教団が公示している、第1回全国大会の精神と方向性を確認すること、そして「家庭」から福音宣教の見直しをしていくという2つの方針のもと、第2回全国会議にむけて、これから準備が進んでいくと思います。全国大会の基本姿勢「聴き、吸い上げ、活かす」ということをもう一度思い起こし、私たちは積極的に意見し、いろいろなことを考えていきたいと思います。

「家庭」というテーマからみなさんはどんな印象をもたらされたでしょう。

司教団は家庭から福音宣教を見直していくということを言っています。司教団のイメージする家庭とはどのような家庭なのでしょうか。

みなさんご自由に語って下さい。教区時報はみんなの自由な意見の場として紙面をつくつていきました。私は思っています。紙上討論会ができるのを願っています。

- 1 第1回全国会議の精神と方向性を確認すること**
- 2 「家庭」から福音宣教の見直しをしていく**

司教団の公示の要点

「第1回全国会議以後「生活から信仰を、社会の現実から福音宣教のあり方を見直していく」という司教団の呼びかけにこたえて、全国の皆さんのが「開かれた教会づくり」の課題と取り組んでいて下さっていることを心から感謝します。わたしたちは第2回全国会議を準備するにあたって、これまでの教会の歩みを振り返り、いろいろな社会の現実を見た時、今こそ「家庭」の現実に取り組むべきだと考えました。家庭は人々の生活そのもの、そして社会の現実がそのまま反映している場だからです。そこで「家庭」こそ第2回会議のテーマにふさわしいと考えたのです。

また家庭からの出発であれば、病気や高齢の方々にも積極的にかかわっていただけるのではないかと思います。小教区や教区の集まりに参加できずとも、祈りによつてかかわつていただき、また手紙や電話によつてご意見を寄せていただけると思います。

特に弱い立場におかれている方々によつて、第2回全国会議が変えられ、準備されることを私は願っています。(1990年12月30日付カトリック新聞より)

司教団は、みんなの意見を「聴き、吸い上げ、活かしたい」と願っています。

第2回派遣メンバー 3月14日出発します



田中真澄さん
1963年生
KYOSIA事務局
KDDオペレーター

KYOSIAの発足以前よりメンバーとして常に積極的に活躍してきた真澄さん。

今回は派遣メンバーのたのもしいお姉さまとして他の人をリードして下さると思います。日頃よりアジアのかけはしとなるべく各地をとびまわりネットワークを広げてこられた力を生かして京都とチッタゴン教区のきずなをより深いものとして下さるでしょう。

むこうではロザリオ神父様も再会を楽しみにしてらっしゃることと思います。流暢な英語と美しい歌声でバングラデシュの人々を喜ばせてくれるでしょう。



野村恵子さん
1970年生
カトリック学生連盟
大学1年生

大学1年生でこれからいろいろな可能性を秘めた恵子さん。実際この目で見て、聞いて、自分に何が出来るのかということを考えたいと今回初めての異国之地での体験に胸ふくらませ意欲満々の彼女です。

お料理が大好きでは非バングラデシュのベンガルカレーを習って帰りたいそうです。帰国後皆さんにも御紹介できるといいですね。



水野実香さん
1969年生
大学3年生

大学で“地球セミナー”という日頃身のまわりで起こっている諸問題についての学び会、ディスカッションなどをするサークルで活躍している実香さん。そこで、日本と第3世界との関係をよく話題にしているそうです。バングラデシュに行くことで自分自身の使命のような生かされている理由を発見できるひとつの機会になればと目をかがやかせておられます。

バングラデシュの人々と出来るだけ同じ目線での交流がしたいとのこと。彼女の大きなかわいらしい目できつとステキな出会いが体験をして帰ってこられることでしょう。

ノモスカル!!これはバングラデシュの公用語のベンガル語でここにちはという意味です。時報編集部のおとりはからいで今回よりKYOSIAのコーナーを設けていただくことになりました。KYOSIA主催の行事をはじめ、メンバーのこぼれ話、皆さんへのメッセージなど出来るだけ楽しく、たくさんお伝えしていただらうと思っています。時がたつのは早いものでKYOSIAも歩き始めて丸3年になりました。昨年は3月に最初の派遣として3名の若者をバングラデシュへ送ることができ、帰国後各地で報告会を開き皆さんにも彼らの想いを聞いていただきしたことと思います。そして今年もまた3月に3名の若者を送ることになり、メンバーもこのほど決定いたしました。私たちがこれまでやつてこれたのも皆さんからの献金をはじめ、テレフォンカード、バングラデシュ手工芸品の購入、KYOSIA主催の行事への参加とたくさんあたたかい御援助があつたからと委員一同心から感謝しております。本当にありがとうございます。これからも一歩一歩、皆さんと共に歩み続けていきたいと思います。ひき続きあたたかい御支援をよろしくお願ひします。

3名の他に頼りになるボディガード兼団長として奈良大和高田教会のオヘール神父様に同行していただきます。

チッタゴン教区の司教様やロザリオ神父様との今後の交流について、より積極的な会談をしてきて下さること思います。

また、派遣団帰国後はその様子をこの“ノモスカル”でお知らせすると共に報告会等積極的に皆さんへお伝えしたいと考えています。是非御参加下さい。

こちらは、京都カトリック青年センターです。みなさん、お元気でしょうか。今号では、「90年末から'91年にかけての青年たちの動きをご紹介します。

みなさんは、「東チモールに水牛をおくる会」をご存じでしょうか。

'89年京都ウォーカソンに関わった南部の青年有志を中心に活動し始めたグループで、青年センターが窓口となっています。この会が主催した「水牛コンサート」が12月2日、丹後大宮教会ホールで行われました。当日は北部の青年を中心とした3つのグループの演奏があり、約50人の聴衆が集まりました。温かい雰囲気の中に、チモール問題を真剣にとらえて下さった丹後のみなさんの中から会への支援協力がありました。ありがとうございました。

また、来る2月17日(日)には、3時半より西院カトリック会館に於て「水牛コンサートac+2」を行いましたので、是非来て下さい。

次に、1月15日(成人の日)には、青年センターが発足2周年を迎えました。ともにこの日を祝うために、教区各地から約30名の青年

たちが集まりました。記念ミサの中では、「いい若いものが○○をしないでどうしますか!」というテーマで、2人の青年の体験を聴いた後、小グループを作つて分かれ合いをしました。

さて、当日は小雨のぱらつく寒い日でしたが、ミサの後は野外での餅つきで大いに盛り上がりました。丹後の青年から贈られたもち米を、掛け声に合わせて、みんなで大騒ぎしながらつきました。中には、砂利(!)の混じった餅もありました。丹後の青年から贈られたもち米を、掛け声に合わせて、みんなで一緒に食べられる餅は格別でした。

遠くから来てくださったみなさん、また祈りで支えてくださるみなさん、本当にありがとうございます!これからもこんな「つながり(ネットワーク)」をみんなであつたためいいきましょう。

最後は、是非みなさんにおこしていただきたい催しです。来る2月23日(土)~24日(日)に西院カトリック会館に於て、通常の青年センター運営委員会を拡大して「本音の集い」を開きます。これは昨年も同時期に開いて参加者から好評を得て、是非今年も!という希望に応えたものです。お問い合わせは青年センターまで。☎075-465-7014

5月3日に何かがはじまる!!

『東京百年目はん、おこしやす!!
京都実行委員会』発足

こんなステキな機会はない。
なんとかならないものかと頭を寄せ合っているうちに、とにかく企画をすすめられる実行委員会を発足させようと昨年12月22日(土)今年1月5日(土)の2回ミーティングを開きました。

△決まったこと△

▼名称「東京百年目はん、おこしやす!!京都実行委員会」(略して「おこしやす」)連絡先は、京都カトリック青年センター075-(8

22)6246とする。

▼5月3日(金)PM2時~PM5時・ジヨイントコンサート・船岡山公園音楽堂にて。

▼出演者は、オーディションで決定する。ジャンルは問わない。音楽だけでなく、漫談・物まね・落語もオーケー。

「関西訪問ライブキャラバン」を企画したいが受け入れてもらえないかとの問い合わせがあつたのも、クリスマス直前のことでした。

一運営委員会を拡大して「本音の集い」を開きます。これは昨年も同時期に開いて参加者から好評を得て、是非今年も!という希望に応えたものです。お問い合わせは青年センターまで。☎075-465-7014

3月20日必着。4月7日(日)に西院カトリック会館大ホールにて公開オーディションをします。

▼くわしいこと、こまかいことはチラシで報告(見のがさないで下さい)。

5月3日は船岡山へ。約束するなら船岡山へ。デートだつたら船岡山へ。コンサートなら船岡山へ。

に渋谷南平吉の教会で開かれるライブハウスの」というのスタッフも参加しているという情報もあり、実現できるものなら

東京教区からバスを仕立てて青年たちが百名ちかくもやつてくる。「ラスキンクラブ」(注:毎月ラストの金曜日

(((((あんてな

お知らせ

教区スケジュール

| | | | | | | | | | | |
|-----------------------------|---------------|----------------|--------------|-----------|-------------|-------------------|-----------------|-------------------|--------------------|------------------|
| 7日 | 3月 | 1日 | 23日 | 13~14日 | 7日 | 3日 | 2~3日 | 21日 | 16~17日 | 16日 |
| 司祭評議会 | | 世界婦人祈祷会(河原町教会) | 聖ペルナデッタ祝日ミサ | 河原町教会黙想会 | 卒業式(洛星高等学校) | 結婚相談室(河原町カトリック会館) | 国本師の典礼音楽講座② | 司祭叙階式予定(河原町教会) | 伏見教会黙想会 | 修女連総会(西院カトリック会館) |
| 別集い(河原町カトリック会館) | 3日 | 卒業式(聖母高等学校) | (聖母中高等学校) | 正・平協学習会 | 四日市教会堅信式 | 日本26聖人顕彰ミサ | 教会学校教師会総会 | カトリック幼稚園連盟研修会 | 正・平協学習会 | 卒業式(ノートルダム小学校) |
| 結婚相談室(河原町カトリック会館) | 25~27日 | 「第2回ナイスにむけて」 | 山科教会黙想会 | 教区合同洗礼志願式 | 午後2時30分 | (フランシスコの家) | 任式 | 聖香油ミサ・教会奉仕者選 | 京都正義と平和協議会まで | 東九条40番地現地学習会 |
| 3月 | 1日 | 27日 | 23日 | 17日 | 3月 | 2月 | 30~31日 | 31日 | 3月16日(土)~17日(日) | 10日 |
| 3月 | 23~24日 | 25~27日 | 23~24日 | 13~14日 | 3月 | 3月 | 3月16日(土)~17日(日) | 子羊会例会(高野教会) | 申込〆切 3月10日 | 16日 |
| 世界婦人祈祷会(河原町教会) | 青年センター運営委員会合宿 | 大阪管区司祭研修会 | 聖母中高等学校 | 河原町教会 | 教区合同洗礼志願式 | 社会司教委員会(東京) | 祝別式・司教研修会 | 部落問題委員会合宿 | 問合わせ 075(223)2291 | 15日 |
| 結婚相談室開設・グループ別集い(河原町カトリック会館) | | | 聖ペルナデッタ祝日ミサ | (河原町教会) | 午後2時30分 | 8日 | 参加(名古屋研修センター) | 講師 栗林照夫さん(四国学院大学) | 日時 3月16日(土)~17日(日) | 10日 |
| 司祭評議会 | | | 「第2回ナイスにむけて」 | | | 11~16日 | 五島・長崎巡礼 | 場所 河原町カトリック会館 | 場所 河原町カトリック会館 | 16日 |

ひなまつりバザーのご案内
一カトリックきょうと福音センターの活動資金のため……

とき 3月3日(日) 11:00~15:00
ところ 西院カトリック会館 大ホール
問合わせ先 ☎075(822)7123 福音センターまで
古着・食品・日用品など
ただいまバザーの商品大募集!

3月
11~16日 五島・長崎巡礼

2月
3~6日 祝別式・司教研修会
参加(名古屋研修センター)
8日 社会司教委員会(東京)

司教のあしどり

3月
30~31日 子羊会例会(高野教会)

正義と平和協議会現地学習会
東九条40番地現地学習会
日時 2月17日(日)午前12時
(昼食をすませて希望の家に集合)
参加費 無料
問合わせ ☎075(223)2291
京都正義と平和協議会まで
▼部落問題委員会合宿
日時 3月16日(土)~17日(日)
場所 河原町カトリック会館
講師 栗林照夫さん(四国学院大学)
申込〆切 3月10日
問合わせ ☎075(223)2291
部落問題委員会まで

湾岸戦争で、毎日ひとり、ふたりと人が死んでいます。石油のために人殺しがおきています。私は、この人殺しのために税金は払いたくありません。90億ドルの戦費援助、自衛隊機の派遣に反対します。一日も早い平和を願います。(な)



あなたの良き隣人として
カトリック御葬儀貨物一式(仏式可)
聖ヨゼフ葬典社

パウロ 杉下安雄
(西院教会所属)

京都市右京区西院寿町23
☎ (075)312-7829

美し印刷
(株)からふね屋

京都市左京区東大路仁王門下ル
〒606 ☎(075)761-1166(代表)

=祈りのこもった素朴な味=
送ってよろこばれる
修道院製クッキー
ミサ用ブドー酒
(純粋マスカット)
和洋酒

タキノ

〒604
京都市中京区錦小路通烏丸東入
TEL (221)0976-7